

## 令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立板橋有徳高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長＝事務局長、教務主任＝事務局
- (3) 内部委員の構成  
副校長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、経営企画室長 計5名
- (4) 協議委員の構成  
PTA会長、PTA副会長、近隣自治会役員（2町会2名）、高島平警察署員 計5名

### 2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和4年6月23日（木）午後3時から午後3時45分で本校校長室にて開催  
出席者 近隣地域町会役員2名、高島平警察署員1名、校長・本校内部委員6名 計9名  
校長あいさつ、各委員の自己紹介  
協議委員委嘱、評価委員の委嘱  
学校運営連絡協議会趣旨説明、学校経営計画・報告について  
本校の教育活動、生徒の現状報告、各分掌及び経営企画室の経営方針について  
「有徳だより16号」
  - 第2回 令和4年11月25日（金）午後3時から午後3時50分で本校校長室にて開催  
学校の現状について（教育活動、生徒の現状報告、各分掌の中間状況について）  
学校評価アンケートの実施について  
教育活動に対する学校評価の内容について  
「有徳だより17号」
  - 第3回 令和5年2月3日（金）午後3時から午後3時50分で本校校長室にて開催  
学校評価アンケート結果について  
本校の教育活動、成果と課題の報告について  
「有徳だより18・19号」
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他  
令和5年1月30日（月） 書面開催（電話連絡）  
今年度の学校評価の結果、協議委員の評価

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・12月 全校生徒 対象： 51人 回収： 36人 回収率： 70.6%
  - ・12月 保護者全員 対象： 51人 回収： 28人 回収率： 54.9%
  - ・1月 地域・住民 対象： 75人 回収： 43人 回収率： 57.3%
  - ・12月 教職員 対象： 9人 回収： 9人 回収率： 100%
- (3) 主な評価項目  
・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、ライフワークバランス
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）  
学校に対する満足度（無回答を除く全体数からの割合）
  - ・生徒用アンケート Q20：板橋有徳高等学校に入学してよかったと思う。
  - ・保護者用アンケート Q20：保護者として板橋有徳高等学校に入学させてよかったと思いますか。
  - ・地域用アンケート Q10：板橋有徳高等学校定時制課程への入学を薦めることができますか。以上の3問の肯定的な回答A及びBの割合で満足度とすることとしている。  
集計結果（無回答を除く全体数からの割合）（A：はい、そう思う。B：どちらかといえばそう思う。）
  - ・生徒用アンケート Q20：97.2パーセント（昨年88.6パーセント）
  - ・保護者用アンケート Q20：100パーセント（昨年95.2パーセント）
  - ・地域用アンケート Q10：39.4パーセント（昨年66.7パーセント）※地域用アンケートは「わからない」を除くと100パーセント
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
  - ・生徒用アンケートにおいて、学校に対する満足度が昨年に比べて上昇している。特に授業満足度が高

い理由は「基礎基本の確実な定着を目指す。各教科・科目の既習事項を丁寧に反復して学習させ、必要に応じて個別指導を実施する等して、学力の定着を図る。」というカリキュラムポリシーのもとで授業改善を継続した成果であると考察する。

- ・今年度はコロナ禍の中、感染症対策を万全にした上で学校行事をできる限り行った。特に、3年ぶりの実施となった修学旅行においては、生徒の変容が顕著にみられ生徒自身の在り方生き方について深く考えるきっかけとなり、多くの教育成果を得ることができた。また、文化祭や生徒会を中心とした行事の開催など、生徒が主体となって学校生活を充実させることができた。これらの取り組みが学校満足度に反映されていると考察する。
- ・地域にお願いした学校評価アンケート結果から、本校定時制の存在は知っているが、本校で行われていることに関しては「わからない」という回答がほとんどであった。本校の教育に関心を示してくださっている方はおおむね良好な評価であった。
- ・今回地域用アンケートの質問 10「板橋有徳高等学校定時制課程への入学を薦めることができる。」項目の肯定的な意見が 100%（わからないを除く）となった。しかし、青少年健全育成徳丸地区委員会と連携した夜間パトロールの参加や、学校周辺の清掃活動を行うことができなかつたため、今後の再開を含め計画する必要がある。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

##### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・本校の安心・安全な学習環境や問題行動の少なさが本校の教育活動を支える根幹であり、今後も全教職員が一丸になって、安心・安全な学習環境を維持し、生徒を多面的・多角的に理解し自己肯定感を高めさせるとともに、保護者・地域に信頼され「所属していることが誇れる学校」づくりに全力で取り組むことが今後も重要である。

##### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・引き続き、本校の教育活動の情報発信を行う。
- ・次年度は近隣の町会と学校のより連携した活動、防災訓練等が地域と連携して実施したい。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

##### (1) 学校運営

- ・生徒・保護者・地域に対して、機会あるたびに学校の教育活動を説明し理解・協力を得る。
- ・知 徳 体をバランスよく伸ばし、社会に貢献できる生徒を育てる。

##### (2) 学習指導

- ・小規模学校の少人数指導の特色を最大限に生かし、個に応じたきめ細かい指導を行なう。

##### (3) 特別活動

- ・部活動の漫画研究会や演劇部の文化祭発表やスポーツ同好会とテニス部の大会参加等を奨励する。

##### (4) 生活指導

- ・登校時に教員が生徒を玄関で迎え、挨拶を行うなどコミュニケーションを図り、普段からの励ましの声かけは継続して行なう。

##### (5) 進路指導

- ・ハローワーク等の関連機関と連携・協力体制を確立し、卒業生の進路決定率 90%を目指す。

##### (6) 健康・安全

- ・セーフティ教室（年間 3 回）や薬物乱用防止教室（年 1 回）を実施し、命の大切や相手を思いやる心の育成に努める等、心身共に健康な生徒の育成を図った。

#### 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

##### (1) 協議委員人数 5 人

##### (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 5 人中 2 名無回答（アンケート結果において）

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	2	0	0	0	0	0

#### 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

今年度、協議委員の職員会議及び企画調整会議への参加はなし。

#### 8 その他

- ・地域アンケート回収率、回答数ともには昨年度を大幅に上回り、多くの意見を得ることができた。評価精度の向上につながった。